



問 一志学校給食センターの更新とセンター方式で充実を図るのか

平成3年に旧一志町の幼稚園・小学校・中学校の給食施設として開設後、約30年経過し、調理場には空調設備がなく、排水設備や建物の経年劣化も激しく、調理設備機器に至っては老朽化で部品の手配が大変とのことである。早期に施設を更新する考えは。また、少子化が進んでいる近隣の美杉・白山と久居地域も含む津市南部全体の給食センター方式で充実を図る考えはどうか。

答 地域の児童数や給食施設の状況を見ながら、検討していく

一志学校給食センターは、津市個別施設計画にあるとおり、施設の耐震性は確保しており、これまで必要に応じて修繕を行ってきたが、築後31年が経過し、床下の配管や調理機器等の老朽化が顕著になり、安定した給食提供への影響が懸念されるため、同センターおよび一志地域への給食提供の在り方を考える必要がある。その在り方を考えるに当たっては、同センターの改修による長寿命化や新たな学校給食センターの建設による給食提供等が考えられる。今後は、一志地域の児童数の推移と近隣地域の給食施設の状況や児童数の推移等も踏まえ、検討していく必要があると考える。

その他の質疑・質問

- 榊原自然の森「湯の瀬」と周辺施設について
- 給食は地域に根ざした質のよい食材を安定的に
- 豪雨時期に向けての津市の危機管理の在り方は
- 急激な物価高騰に対し津市独自の支援事業で子育て家庭物価高騰対策支援金給付事業約5億5千万円、保育施設、学校給食物価高騰対策支援金事業約4,600万円補正予算への市長の思いは **など**

一志学校給食センターと同センターに係る質問要旨



問 榊原温泉「湯の瀬」のリニューアルオープンについて5点問う

老朽化による建て替えが進んでいるが、現在の進捗状況は。新湯の瀬は地元の活性化の起爆剤と期待しているが、連携状況は。また、集客のため多方面へのPRが重要だと考えるが、オープン前のPRの状況は。また、指定管理者は全国で唯一福祉観光旅館を運営しているが、障がい者、介助が必要な高齢者に優しい施設とのPRはどうか。最後にオープニングセレモニーの予定は。

答 オープニングセレモニーは8月28日(日)を予定

7月竣工予定で、5月末の工事進捗率は70%である。地元との連携は、事業コンソーシアムと地元との協議における地元からの要望について、対応が行われ、地元のリクエストに応える施設整備となった。オープン前のPRについては、近々、指定管理者において専用のホームページを開設し、施設のPRを開始すると同時に、利用の予約受付を開始する予定である。障がい者や、介助が必要な高齢者へのPRについては、指定管理者が事業ノウハウを活用して行い、市も協力していく。

オープニングセレモニーは、8月28日(日)の予定で、式典やアトラクションを計画している。

その他の質疑・質問

- 「農山漁村振興交付金事業」について
- 津市空き家情報バンクについて
- 民生・児童委員の現状と改選に向けて
- シルバー人材センターの状況と今後について
- ひきこもり支援の現状と取り組みについて
- 保育所等の利用について
- 女性消防職員、女性消防団員について **など**

工事中の榊原温泉「湯の瀬」

